

第 604 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「農ガール★かなやん ～わたしの居場所 希望集落～」



平成 27 年 1 月 23 日

BSN新潟放送

第604回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成27年1月23日(金) 11:00～

2. 開催場所 新潟放送本社6階会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長 松川公敏

副委員長 相羽利子

委員 佐々木広介

委員 正道かほる

委員 古賀豊

委員 小島良子

委員 佐藤元

委員 佐藤明

委員 細田康

○委員側欠席者

委員 高井盛雄

○放送事業者側出席者

社長 竹石松次

専務 梅津雅之

常務・編成局長 水田義雄

営業局長 斎藤和利

報道制作局長 五十嵐幹史

ラジオセンター長 鍵富徹

○事務局

事務局長 小原弘志 (社長室長)

事務局員 増山由美子 (考査広報部長)

4. 議題

・審議事項

テレビ番組

「農ガール★かなやん ～わたしの居場所 希望集落～」

放送日時 平成26年12月31日(水) 午前10:50～11:45

5. 議事の概要

～番組審議委員の主な意見～

- 3年前に一作目を見た。継続して取材してきたことに感動した。若い女性は首都圏に集中している。これをきっかけに中山間地に若者が増えてくれることを期待する。
- 当初は、若い女性が知らない土地で頑張るという姿だったが、坂下さんが「自分が新しい生き方を示す・切り拓く」という使命感を持ってきているように感じた。
- 集落の方の年齢分布などのデータがあってもよかったのでは？また、坂下さんは公的な支援制度を利用して就農したと思うが、そういう制度についての情報もほしい。就職を考える若者たちの役に立つのではないか。
- 池谷の自然の厳しさと美しさ・坂下さんの人柄・涙など、よく描かれていた。坂下さんの普通の日も見てみたいと思った。
- 過疎が進む中山間地の在り方や、これからの女性の生き方についてなど、色々なテーマで考えさせられる良い番組だった。
- 結婚が決まった坂下さんに対する集落の反応、そして坂下さんの「男に生まれたかった」という言葉は心に響いた。女性が仕事をしていく中で、結婚・妊娠・出産は「リスク」となることもあるのは事実。覚悟を決めるまでの葛藤をもう少し見せてほしかった。
- 一人の女性の結婚までの物語ならばハッピーエンドで良いかもしれない。しかしこれがゴールではなく、これから様々な現実とぶつかっていくはず。取材を続けていくなれば、立ち位置をしっかりと定める必要がある。
- プライバシーがある中で、強い信頼関係を持って取材が行われていたことが窺える。その努力を評価する。
- 「幸せ」の多様性を見た感じがする。
- 3年間の取材映像が各所で使われていたが、いつのシーンかわからないものがあった。
- 坂下さんという魅力的な農ガールとの出会いから生まれた番組。困難はあるかもしれないが、彼女たちの子どもが集落のおじいちゃんおばあちゃんに温かく育てられていくという将来があればいいと願う。
- 継続して取材してほしいという気持ちもあるが、家族もでき環境が変わっていく中で坂下さんにプレッシャーがかかっているのではないかと考えると、それがよいのかどうかかわからない。

～酒田ディレクターより～

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

- この番組は、坂下さんを主人公にした第2弾。限界集落を調べていて、何かきっかけがあれば生まれ変わる集落もあるのではないかと探していたら坂下さんに出会った。集落を主体にすべきか・坂下さんを主体にすべきか、取材を始めてから3年間悩み続けてきたが、ご指摘の通りもう少し集落の部分を増やした方がよかったのではないかと考えている。一人移住したからと言って希望集落に変わるわけではなく、限界集落は限界集落と私も充分認識している。ハッピーエンドという描き方はしていないつもりだが、もっと厳しさを出せたかもしれない。
- 私も女性なので坂下さんの悩みは痛いほどわかる。自分自身も経験してきたこととし

て同じ目線で描けたと思っている。

坂下さんも今後の取材継続を望んでくれている。結婚が終わりではない。私が勝手なゴールを思い描くのではなく、自然体の坂下さんを撮り続けていきたい。

【文責・番組審議会事務局】
